

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会たより

第24号

日時：平成 29 年 1 月 12 日(木) 18：30～20：30

会場：くすのきセンター1 階研修室 新規参加 5 名

参加者：62名（医療関係者29名、福祉関係者17名、行政等16名）



《テーマ》 『在宅歯科・口腔ケア』 (彦根歯科医師会)



冒頭に彦根歯科医師会 会長文村俊治さんよりご挨拶をいただきました。

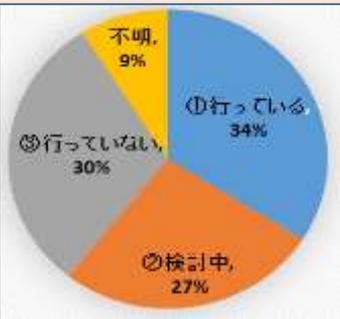
話題提供 1

『在宅歯科診療に関するアンケート調査結果より』

野村歯科医院 野村信人さん



- ◆調査実施時期：平成 28 年 9 月
- ◆対象：彦根歯科医師会 会員
(彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町)
- ◆回収率：91%



◎訪問歯科診療実施の有無 (左図参照)

◎訪問先について

- ①特養、老健、老人ホーム等の高齢者施設 (8)
- ②在宅(患者自宅) (17)
- ③サービス付高齢者住宅(1)

◎訪問診療を行うために必要と感じること (TOP3)

- 1 「全身疾患への対応、バックアップ体制の構築」(28)
 - 2 「医師や介護スタッフとの連携体制、顔の見える関係の構築」(27)
 - 3 「機材、器具の貸出の簡便化」(19)
- その他：「歯科衛生士の充実、確保が必要」「元気なときからかかりつけ歯科医を持つ。かかりつけ歯科医の重要性を認識すること」

◎多職種連携の必要性について

- ・「必要」(40) ・「必要でない」(4)

◎在宅歯科医療の推進について

- ・「そう思う」(28) ・「少しそう思う」(14)
- ・「あまり思わない」(4) ・「思わない」(2)

《在宅歯科診療についてのコメントの一部》

- ◎健康な時から定期的にかかりつけの歯科医院で検診を受け、虫歯や歯周病他口腔疾患(口腔がんも含めて)の早期発見、治療の重要性をもっと行政サイドから市民に広報を。
- ◎福祉関係者の歯科医療への認識はどうでしょうか。
- ◎口腔外科処置を伴うような処置には内科学による病態の十分な把握が必要。
- ◎歯科治療は使用する器具、材料が多種多様でベッドサイドでは十分な診療ができない場合もある。できる限り受診してもらうよう移動手段を(車いす移動、交通手段のサポートなど)考えてゆくことも必要ではないか。
寝たきりの方など移動できない方の口腔ケアや治療はもちろん必要に応じしていくべきだと思う。

話題提供 2

『口腔ケアの大切さについて』

歯科衛生士 木下 幸子さん



木下さんは高齢者施設での口腔ケアや、在宅者への訪問歯科診療にも携わっておられます。

今回、実践事例を交えて、口腔ケアの大切さについて話していただきました。

歯科衛生士ができること

- ・「専門的口腔ケア」単なる口腔の清掃ではなく、「生活を支える機能的な口腔ケア」を実施

なぜ口腔ケアが必要か

- 1 麻痺や廃用により自分で歯磨きや 義歯の清掃が十分にできない。
- 2 麻痺や何らかの障害により、うがいができない。
- 3 胃ろうなどの経管栄養により、口から食べていない人は痰や乾燥した口の中の状態が見られる。



誤嚥性肺炎の予防

口腔ケアの効果



多職種により気づくことが大切

いつもと何かが違う・・・いち早く、その人の変化を知ることが必要。

それには、いつも関わっているご家族、ケアマネさん、施設の職員さんなどの目がとても大切です。

そして何かおかしいと感じたら、専門職へつなげていただくことが重要です。

どんなささいなことでも構いません。歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。

交流会

交流会・自己紹介タイム

～感想・自分たちができること・もっと知りたいこと～



司会進行：若松歯科医院
若松 健治さん

今回は歯科医師 11 名、歯科衛生士 3 名の方が参加。8つのグループに分かれて意見交換を行いました。(一部紹介)

歯科治療・口腔ケアの大切さ、難しさ

歯科医師

- ・歯科治療実施の際、全身状態について心配。ケアマネジャーや看護師と共に関わると安心できる。

介護サービス事業所

- ・歯科衛生士に関わってもらいたいが、小規模の介護事業所では、その経費捻出に苦慮。
- ・10年前と比べるとデイサービスでは口腔ケアが意識されている。口腔体操や唾液腺マッサージ、食後のうがいや義歯清掃などが行われている。しかし、口腔内の評価や個別ケアは十分に出来ない状況もある。

ケアマネジャー

- ・歯科健診に行けなくなっている人、忘れてしまっている人も多いのでは。その人たちへの対応が課題。
- ・口から食べられることが重要。どのような状態であるかを確認して歯科に連絡を。ケアマネジャーの仕事が重要。
- ・どのような状態なら歯科受診につなげたらいいのか判断(アセスメント)が難しい。

もっと啓発を！



- ・介護予防として口腔ケア啓発が必要。元気な高齢者に対して認知症の予防のように啓発していけると良い(保健師)。
- ・口腔ケアの依頼は少ない現状。口腔ケアが全身状態の向上につながることを伝えていかないといけない。

これから できたらいいと思うこと

- ・地区別で相談窓口や訪問診療ができるところが明確になると良い(理学療法士)
- ・実践事例を共有できるような場、困った事例を話し合える場が必要だと思う。
- ・地域包括センター職員やケアマネジャーと歯科衛生士が口腔の相談に対して初回訪問できる仕組み。歯科医師に相談する前に歯科衛生士がチェックできるとよい。
- ・認知症が進行した方への対応ができる体制作り。
- ・「寝たきり老人訪問歯科指導」の再開。

今回も歯科診療や口腔ケアの現状について新たな気づきがありました。専門職を交えて『実践事例を共有できるような場、困った事例を話し合える場』の大切さを感じました。このような交流を通じて、互いを理解し合うことからつながりがうまれてきていると思います。『多職種が手をつなぎ合う』ということは「自分たちの専門性をより発揮できるようにするため」、ひいては「患者・利用者様にとって安心安全な生活つながる」という医療福祉職の共通の目的を果たすために大切なことであるとあらためて感じました。

次回もこの研究会からたくさんのつながりができますよう、皆様のご参加をおまちしております！（事務局）

ご参加ください！ ことう地域チームケア研究会

お知らせメールの登録をお願いします

第25回

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は
①お名前 ②ご所属 ③ひとこと をいれて事務局までメール送信してください
☆事務局 (mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

次回は・・・平成29年3月9日(木) 18:30～20:30

テーマ：『自宅での暮らしを支えるチームケア

～ある看取りの事例より～』

会場：くすのきセンター1階研修室

担当団体：彦根医師会

*申し込みは不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛犬犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)



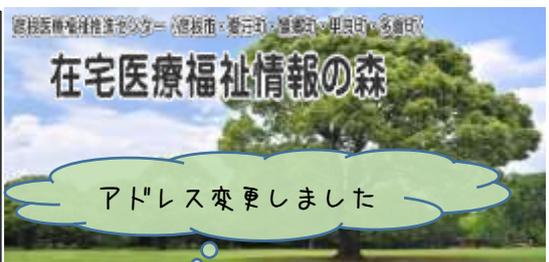
松木診療所 松木明さん

密陽医療福祉推進センター（彦根市・美江町・彦根市・甲良町・多賀町）

在宅医療福祉情報の森

アドレス変更しました

<http://kusunoki-iyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
HP「在宅医療福祉の森」でも研究会の情報をご覧いただけます。





こんなこと思いました

第24回ことう地域チームケア研究会

参考になった、報告したい

- ◆多職種の方の在宅歯科診療についての疑問点などが聞けてよかった。(歯科衛生士)
- ◆訪問での歯科治療においてはケアマネ、歯科衛生士等と連携が必要だと思いますが、普段の予防においても知識が必要と思います。歯科助手と歯科衛生士が違うのを初めて知りました。(福祉用具相談員)
- ◆実際にいろいろな職種の視点から口腔ケアについての取組みなど意見交換が出来て良かったです。
- ◆訪問診療での義歯作成について。口腔ケアの必要性。(理学療法士)
- ◆歯科医院からの訪問は出来るだけ回数少なく、効果的に出来れば家族様もありがたいと思っておられる。そのためには的確な情報提供が必要で、歯科医師が出向く前に歯科衛生士が在宅に関わるシステムがあれば治療もスムーズに行えると思います。(歯科衛生士)
- ◆歯磨きの方法でプラークのつき方が変わる事。義歯にもよいものと悪いものがあること。(看護師)
- ◆歯科についてのいろいろな情報を知ることができました。(看護師)
- ◆グループ交流会で医師に誤嚥性肺炎の原因を詳しくレクチャーしていただき大変参考になりました。家族にも肺炎や歯科予防のことを理解してもらいたいと感じました。(介護サービス事業所)
- ◆口腔ケアを行うことで誤嚥性肺炎の率が3分の1になること。(介護職)
- ◆歯科医師の方から現状(高齢者の治療)を直接聞いて参考になりました。(ケアマネジャー)
- ◆口腔ケアの重要性。訪問歯科診療、歯科衛生士についていろいろと知ることが出来勉強になりました。

もう少し聞きたい

- ◎ケアマネジャーさんに介護サービスの内容について聞きたい。(歯科衛生士)
- ◎歯科医師が訪問についてどのように考えておられるのかももう少し思いをお聞きしたい。(歯科衛生士)
- ◎歯科衛生士も嚥下の指導をしていただけませんか。その場合言語聴覚士との連携も出来るのでしょうか。(福祉用具相談員)
- ◎具体的な治療を見たい。歯の中の状態がどうなれば依頼すればいいか。指標みたいなものがあればいい。
- ◎病棟でできるブラッシングの方法。(看護師)
- ◎ブラシや口腔ケアの具体的な内容を教えていただきたい。(看護師)。
- ◎口腔ケアの正しいやり方、楽しい口腔体操。(介護職)。
- ◎車椅子高齢者でも通院可能な医院について。
- ◎訪問歯科で実際に行った治療を聞いてみたい。

第24回ことう地域チームケア研究会に参加して下さった方の所属事業所

(同意を頂いたところのみ記載しています)

《順不同》

松木診療所/中西医院/成美記念クリニック/橋本医院/彦根市立病院/友仁山崎病院/
 野村歯科医院/井本歯科医院/ニュータウン上出歯科/K 歯科医院/若松歯科医院/島野修歯科医院/白石歯科
 中島歯科医院/長寿歯科医院/文村歯科医院/歯科衛生士会
 わかば薬局神崎店/彦根市訪問看護ステーションほほえみ/レインボウひこね/こころ訪問看護ステーション
 NPO ほほハウス(居宅)/ニチケアセンター彦根(居宅)/彦根市社会福祉協議会(居宅)/彦根市医療福祉推進
 課/湖東健康福祉事務所/ぶどう居宅介護支援事業所/ケアプランセンターどりーむ/あったかケアプランセンター
 デイサービスさくら/北デイサービスセンター/デイケアはるのうみ/愛荘ゆらぎあんどん
 特別養護老人ホームさざなみ苑/トーカー
 彦根市地域包括支援センターいなえ/彦根市地域包括支援センターきらら/彦根市地域包括支援センターすばる
 彦根市地域包括支援センターハピネス/甲良町地域包括支援センター/愛荘町地域包括支援センター
 多賀町地域包括支援センター/愛荘町健康推進課/彦根市医療福祉推進課/湖東健康福祉事務所/

第24回のSNAP

2017. 1. 12

グループ交流のあとで全員自己紹介
全体で意見をシェア

